

# 4階東病棟のスタッフです



## メンバー紹介

常勤医師 3名

小児科常勤医 1名

助産師 11名

(アドバンス助産師 9名)

看護師 11名・看護補助 1名

事務員 1名

4月から赴任した小児科の澤路陽一医師です。休みなく働いてくれています！



# 4階東病棟



4階東病棟は、主に産婦人科・眼科・形成外科・内科の混合病棟です。一般病床は女性のみ入院可能です。このほか、緩和ケア病床を7床持っています。

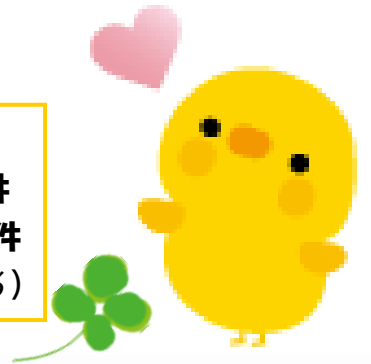
産科では、自分らしい出産、満足な出産体験ができるようスタッフ一同日々努力しています。

平成 28 年度分娩実績

分娩総数：234 件

帝王切開数：40 件

(帝王切開率 17.1%)





## 緩和ケア病床について



緩和ケア病床では、患者さんが落ち着いた環境で療養生活を過ごし、その人らしい生き方ができるような看護ケアを心がけています。医師・看護師・薬剤師・栄養士・リハビリスタッフとチームを組んで、患者さんがよりよい生活を送れるよう症状コントロール、日常生活の援助を行っています。患者さん・家族に同行しての外出支援や患者さんの希望に沿った退院支援を行っています。



患者さんやご家族の要望に合わせて、デイルームのディスプレイをいろいろ変更し、入院生活を楽しめるようにしています。

# 4 階西病棟

## 職場の特徴

一般外科、脳外科、歯科口腔外科、形成外科、眼科の混合病棟です。30名のスタッフが元気に明るく対応しています。

急性期からターミナル期まで様々な時期の患者さんがおり、在院日数も短く回転率の高い中、その過程に応じた看護を心がけています。

また、日々進歩してゆく医療に対し、常に知識と技術の向上に努めています。

# 4階西病棟スタッフステーション

4th Floor West Ward Staff Station 四楼西病栋 医务工作人员服务处



チームワーク抜群の病棟です。

笑顔が絶えず、

明るいのがモットーです！

毎月イベント開催中（^^）

# 5階東病棟



5階東病棟はハイケアユニット（HCU）4床を含む49床の整形外科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科の急性期混合病棟です。男性看護師5名を含む32名のスタッフ一丸となって切磋琢磨し、常に優しく、時には厳しく向上心を持って勤務しております。

主に、整形外科は大腿骨頸部骨折・腰部脊柱管狭窄症など、泌尿器科は尿路結石や前立腺などの疾患、耳鼻科は副鼻腔炎や突発性難聴など、皮膚科は蜂窩織炎などの疾患の患者さんが入院しています。看護職は、それぞれの診療科の特徴を理解し、質の高い看護の提供に努めております。また、入院早期からの退院支援に重点をおき、患者さんの回復段階にあわせてリハビリテーション、日常生活の援助、家族指導を行っています。さらに、安全で安心な療養環境の提供に努めています。



看護職の皆さん、一緒に笑顔の絶えない病棟での勤務をしませんか？  
お待ちしております。

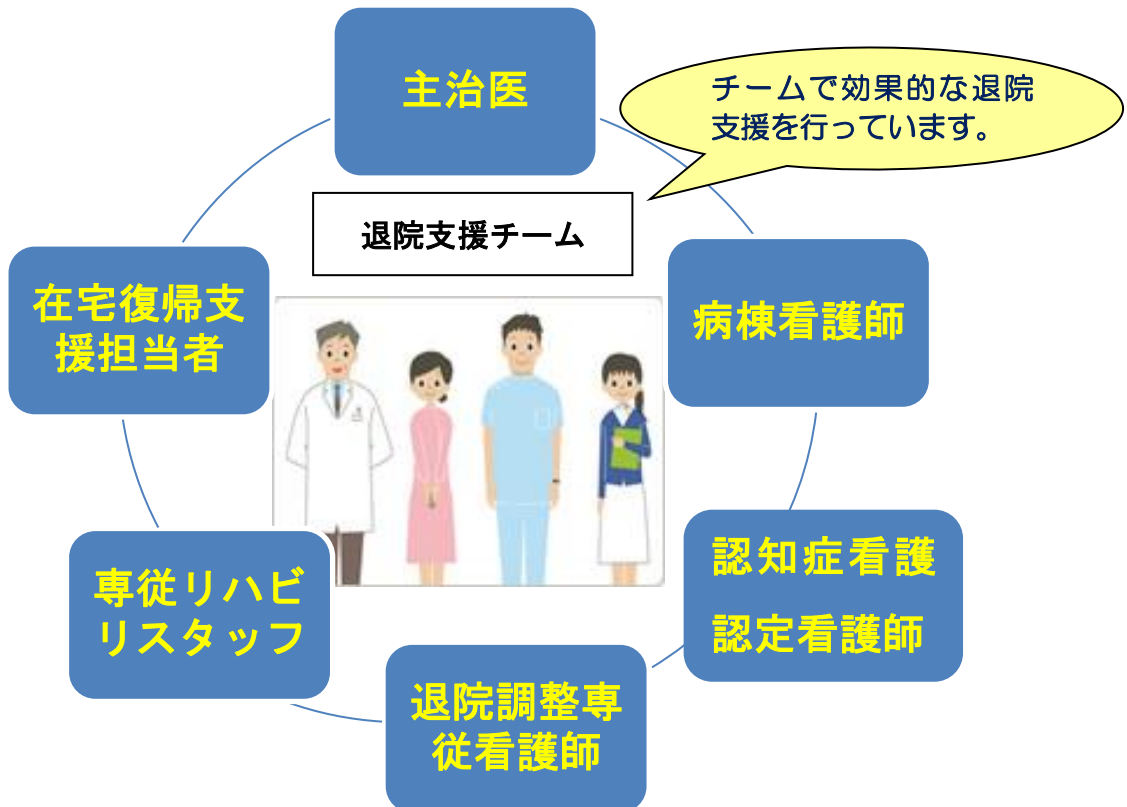
# 5階西病棟

5階西病棟は地域包括ケア病棟として、48床を有しています。

地域包括ケア病棟は、平成26年度診療報酬改定当初の4月、全国に先駆けてできた病棟です。

## 「地域包括ケア病棟とは」

急性期治療を終了し、すぐに自宅や施設にから退院するには不安がある患者さんに対し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。当病棟での入院治療が一段落し、病状が安定しましたらご自宅または介護施設などで療養を継続していただくことになります。



## 5階西病棟の看護方針

- ・患者さんとより良いパートナーシップを築き、患者さんが安心して納得のいく医療と看護を提供します。
- ・専門分野の知識・技術を活かしたチーム連携により、患者さんが安心して退院できるよう退院支援を行います。

『どの看護職の方々も笑顔で接していただき、心がおだやかになり、感謝しております。食事なども、患者に合わせていただき、感謝しております。』

退院の際に家族に頂いた言葉の一例です。

患者さんから  
元気をいただ  
いています。

## 5階西病棟スタッフステーション



認知症看護認定  
看護師がいます。



## 6階東病棟の紹介

病床数 47床（うちHCU4床）

職員数 32名（看護職29名・看護補助者2名・クレーク1名）

勤務体制 2交代制

主な診療科 循環器内科 呼吸器・アレルギー内科 消化器内科

### 病棟の概要

当病棟は循環器・呼吸器・消化器疾患の急性期及び慢性期の患者さんが入院される病棟です。主に呼吸不全・心不全症状の方が多く入院されており、65歳以上の方が大半を占めております。高齢化に伴い、他の疾患を合併している方も多く、病態も多様化しています。また、様々なニーズに対して柔軟に対応できるようスタッフ同士、情報の共有を行っております。

日々変化する医療知識の習得や複雑な病態を持っている患者さんを広い視野でとらえ、他職種と連携し、安全で質の高い看護を提供できるように努めています。

患者さんが安心して入院生活が送れ、早期の退院に向けた支援にも力を入れております。



# 6階西病棟

6 階西病棟は、消化器、呼吸器、アレルギー代謝疾患の患者さんが入院する内科病棟です！  
急性期から慢性期の患者さまを全て受け入れ、日々、温かい看護を提供しています。  
また、看護の質向上を目指した熱い指導と看護実践をしている病棟です。安全で快適な入院生活が過ごせるよう、毎日笑顔で患者さんのサポートをさせていただいています。

## メンバー紹介

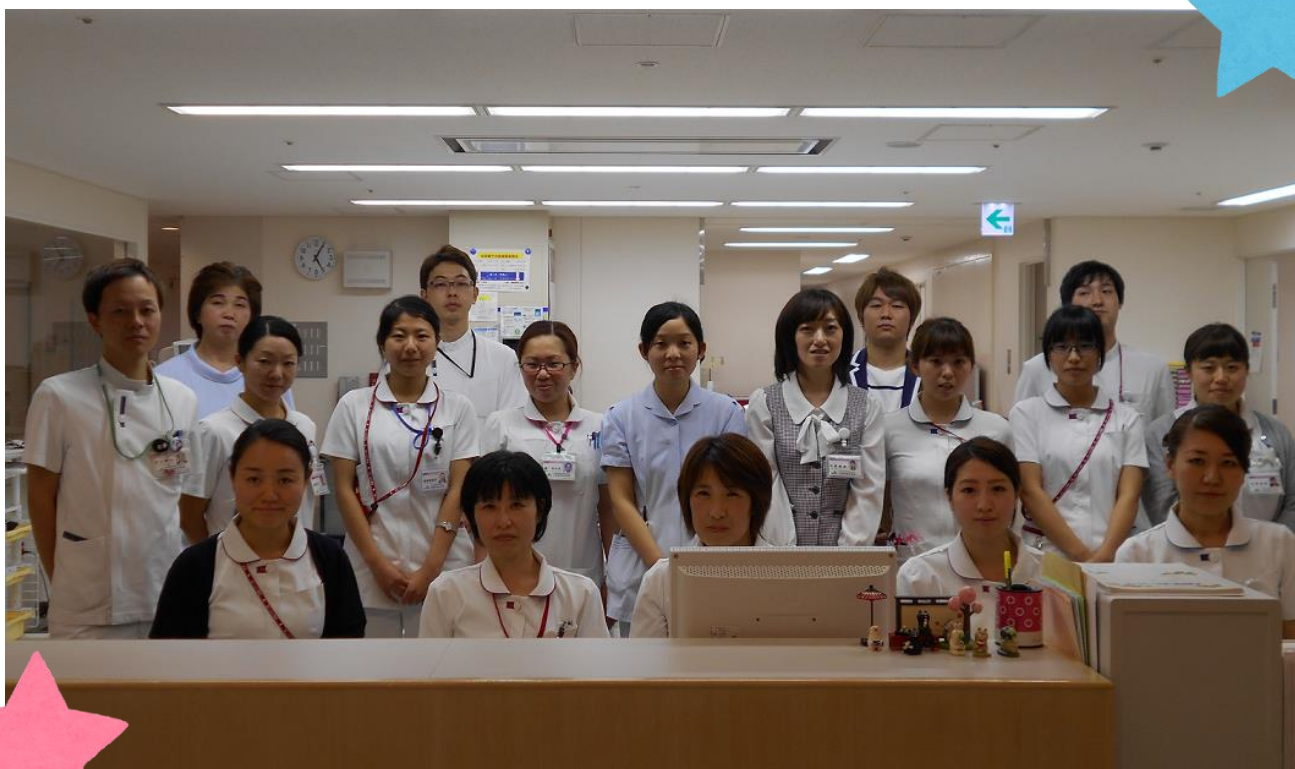
看護師 25 名 准看護師 3 名 看護補助者 2 名 クラーク 1 名

4 人の男性看護師、ママさん看護師も多数在籍。  
やりがいを感じながら、毎日楽しくお仕事しています。  
一緒に働きませんか？お待ちしております！





# 7階東病棟



## ★メンバー紹介★

ベッド数 40床

職員数 27名（師長1名・主任2名・看護職21名・看護補助2名・クラーク1名）

※ 糖尿病療養士 4名

## ★病棟の特徴★

当病棟は、糖尿病の患者さんを中心とした内分泌・循環器・呼吸器・消化器疾患の患者様が主に入院する病棟です。糖尿病は、食事・運動・薬物療法などを、生涯にわたり自己管理することが重要であり、病棟看護師と、糖尿病支援チーム・糖尿病認定看護師・糖尿病センター間で連携をとり支援を行っています。

また、私たち看護職員は、患者さんやご家族に寄り添い、質の高い医療・看護の提供できるよう、さらに専門性をたかめていきたいと思っています。





糖尿病教室を  
行っています



5、シックデイの時は  
 ・こんな場合には早めに受診しましょう。

- まったく食事がとれない
- 下痢や嘔吐が続く
- 腰痛が強い
- 38℃以上の熱が続く
- 改善の気配がない
- 尿ケトン体が強陽性
- 高い血糖値が続く(250mg/デシリットル以上)
- 尿糖の強陽性が続く(血糖自己測定していない時)
- インスリン注射量や経口剤の服用量が自分で判断

血糖測定中です



フットケアを  
行っているところです



病棟では  
勉強会や防災訓練も  
行っています！



7階東病棟には  
眺めの良い特別室もあります♪



# 7階西病棟(精神科)

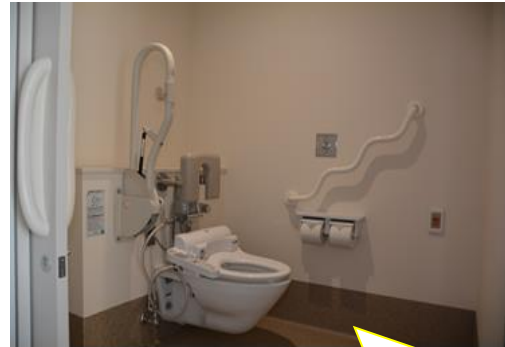
7階西病棟は、見晴らしが良く、患者さんにとっては落ち着いて過ごせる環境にあります。閉鎖エリアと開放エリア合わせて50床、それぞれのエリアは、スライド式の壁で仕切られ、患者数に合わせて病床数が変更されるという珍しい構造になっています。

現在精神科リエゾンチームと認知症ケアチームとの連携を図り、医師・薬剤師・認定看護師・リハビリスタッフなど他職種と定期的に病棟ラウンドを行っていき、せん妄患者に対する相談・アセスメント、状況に応じて当科に転科し継続的なケアを行っています。

また、統合失調症やうつ病・認知症の他、発達障害や骨折・癌の周術期、糖尿病患者など、身体合併症患者の受け入れも積極的に行い、退院調整にも力を入れています。



開放エリアの個室には、  
テレビと冷蔵庫が設置されて  
います。



各個室・4床室共に  
トイレがついていま  
す。



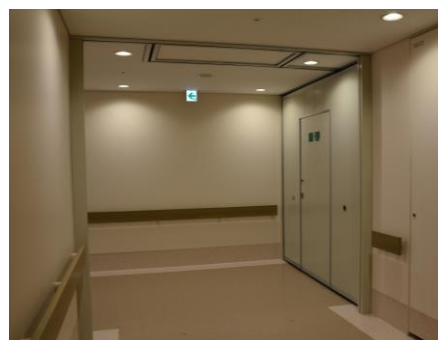
ダイニングは、開放  
エリアと閉鎖エリア  
それぞれにありま  
す。(写真は開放エリ  
ア)



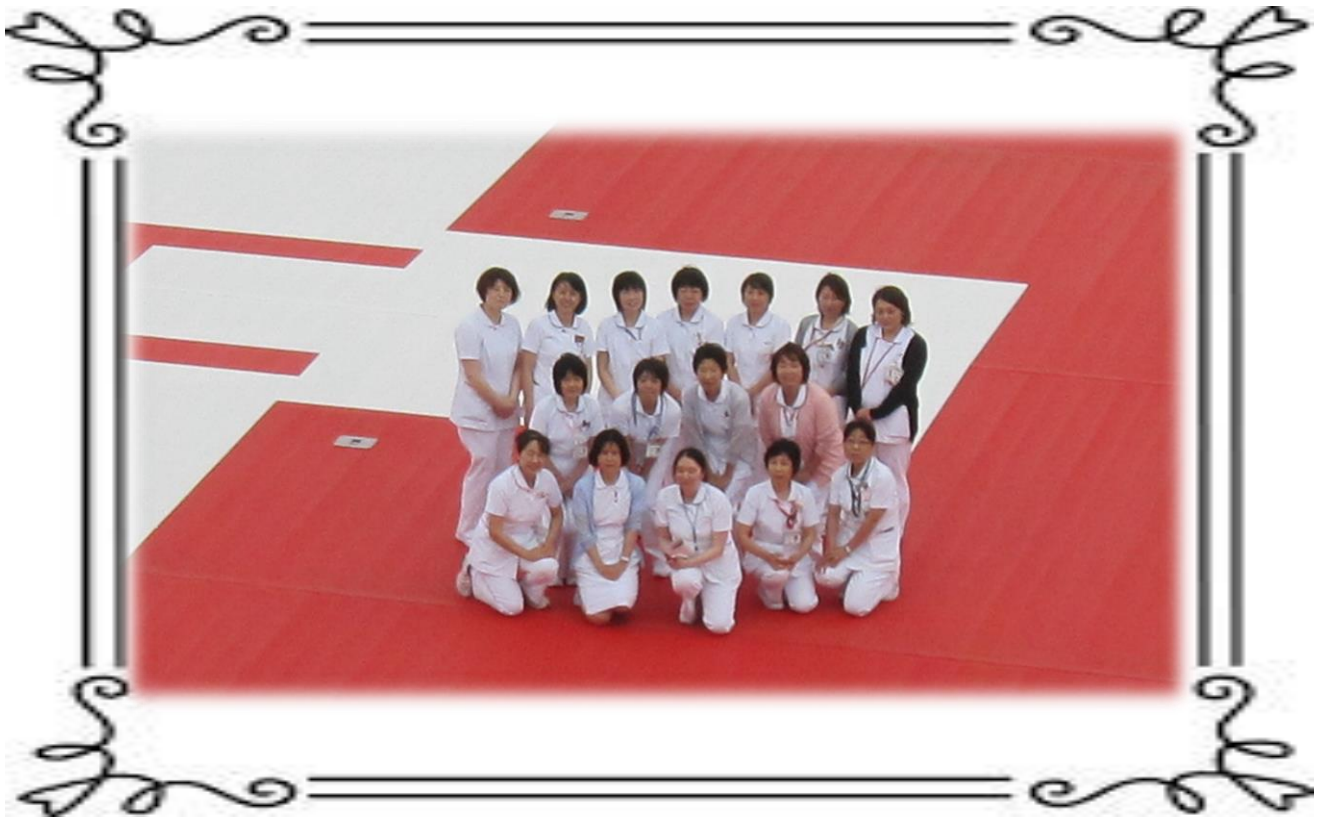
開放エリアに 3 台、閉  
鎖エリアに 2 台のコイ  
ンランドリーがありま  
す。



開放エリアと閉  
鎖エリアを分け  
る移動式扉があ  
ります。



# 外来看護課



**外来は、地域の医療を担う総合病院の窓口として病棟看護師、地域の介護スタッフと連携して、患者様の在宅生活を支えていけるようにサポートしています。また、スムーズに救急患者を受け入れるため、態勢を整え、患者さんの安全にも配慮をしています。**

**看護師のみなさん、ぜひ一緒に働きませんか？**

# 患者支援センター（PFM）



## 職場の特徴

患者支援センター（PFM）は外来受診から入院、退院後も安心して療養できるよう支援を行っています。看護師 7 名、事務員 5 名、医療ソーシャルワーカー 5 名、医療安全推進員 1 名で構成されています。

患者支援センターでは、不安を抱え外来受診する患者さんにスムーズに受診していただくための案内や、入院される患者さんの基本情報をお聞きし、安心・安全に入院生活が送れるためのサポートをしています。また、退院後、患者さんが安心して地域で療養できるよう関係機関と連携を図りながら療養生活の支援をしています。

相談業務として介護相談・がん相談・医療相談を実施しています。毎月のがんサロンや 7 回/年の介護・健康セミナーも開催しています。



## セールスポイント

病院と地域との連携を図り、患者さんやご家族の方に満足していただけるよう、相談や困りごとに迅速に対応することを心がけています。また、がん相談員や医療メディエーターにより皆様の声をしっかりと聴いております。また、急性期病院としての退院支援調整のための仕組みづくりに力を入れ、患者さん・ご家族の希望に添えるよう努力しております。



いつでもお声をおかけ  
ください(〇〇)／



看護師



医療ソーシャルワーカー

安心してご相談ください。  
親身に対応します(\*^\_^\*)



目配り・気配りに心がけ、安  
心を提供して参ります(〇〇)



事務員・医療安全推進員



# 中央手術室

2017. 5月版

上都賀総合病院 手術室ホームページです(\*∇\*)

当院の手術室は、麻酔科医5名・看護師17名・事務員1名の計23名が所属しています。対応している科は、外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科の9の診療科で、年間1800件の手術をしています。

当院へ就職または奨学生を考えている学生さんへ。

みなさんは手術室にどんなイメージを持っていますか？「怖い」「大変そう」「血がすごそう」などのイメージがありますが心配はいりません。当院では、独自のラダーシステムを採用し新人教育にあたっているため、一步一步確実に成長することができます。

看護師として、自己成長を体感できます。

ぐんぐんスキルアップしていく自分を感じてみませんか？

また、患者さんとの関わりでは、術前訪問を通して患者さんにとって手術という大きな出来事を共有し、信頼関係を築いていきます。不安の軽減に繋がり患者さんから感謝の言葉をいただくことは大きな喜びです。接する時間は短くても質の高い看護を提供したいと考えています

ぜひ一緒に手術看護を実践し極めていきましょう。

お待ちしております。



【外科の鼠径ヘルニアの手術です。新人が最初に入る手術です。】

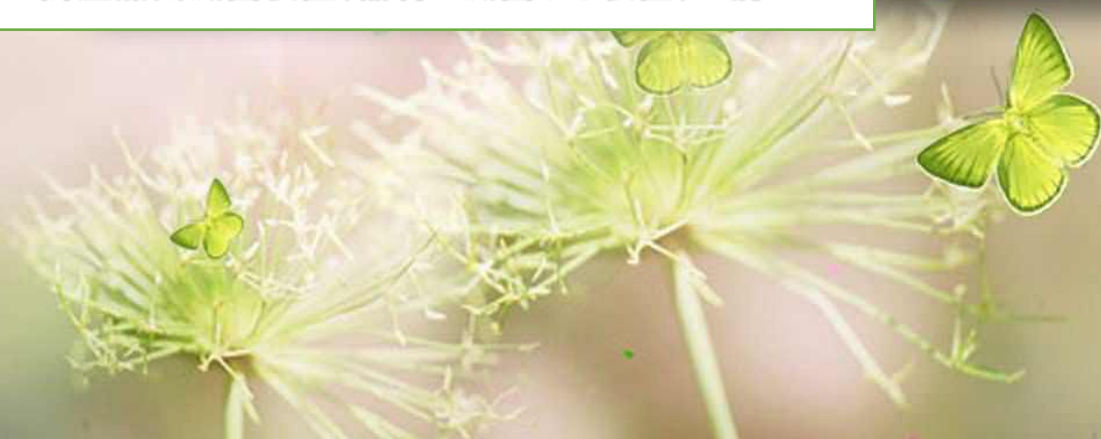
# 中央材料室

中央材料室では 手術器械をはじめとして、病院内で使用される医療器具の回収・洗浄・滅菌・配送までの作業を担当しています。

常に安全で安心して使用できる医療器材を提供することで 患者様の健康回復をサポートしている " いわば縁の下の力持ち " として日々頑張っています。 興味のある方、一緒に働きましょう。



高圧蒸気滅菌装置(器材を滅菌する装置)の前で



医療器械の洗浄作業



滅菌パック作業



手術器械の組み立て作業



手術器材の管理



手術準備作業 1



手術準備作業 2



医療材料の管理



院内各部署への配送・回収

